

静岡県シ連だより

(全国统一安全就業スローガン) 「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」

46

号

シルバー会員の皆様に密着したYouTube動画が完成!

『静岡県シ連 YouTube チャンネル』

ご視聴・チャンネル登録をお願いします!!

動画はコチラ!



- 会長挨拶 / 連合会定時総会 / 陳情2
- 役員研修会 / 女性委員会研修会3
- 安全就業パトロール指導の実施4
- 就労支援・DX化等推進支援5

- 令和7年度「シルバー月間」の取組 / 高齢者活躍人材確保成事業の取組 ...6
- 講習会で社会参加と地域貢献を後押し7
- 各SC同好会・クラブ・サークル活動ランキング8
- こんな時に!!シルバーという手があります! / YouTube動画紹介 / 会員募集中! ...8

(公社)静岡県シルバー人材センター連合会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5番地の1(静岡県勤労者総合会館4階)
 TEL(054)254-7240 FAX(054)205-4540 E-mail: shizuren@sjc.ne.jp
 発行日 令和8年3月吉日 発行人/荻野多喜雄



会長挨拶



(公社)静岡県シルバー人材センター連合会
会長 荻野多喜雄

日ごろは連合会の事業運営に格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

我が国の経済活動はゆるやかに回復基調をたどり、好調な企業業績を背景に賃金も上昇傾向にあります。一方で急激な円安による物価高、アメリカの関税問題が私たちの日々の生活や企業の業績に悪影響を与えています。

本県のシルバー事業につきましては、関係者の皆様の積極的な取組により、女性会員が順調に増えており、会員数の回復という明るい兆しが見え始めています。これを機会にさらなる反転攻勢に向け、令和7年度に策定された「第2次シルバー事業推進計画」(令和7年度〜12年度)に基づいて、引き続き会員拡大の取組を効果的に進め、目標達成に注力していく必要があります。

このよつな中、フリーランス法の

施行に伴う新たな契約方式への円滑な移行やデジタル化への対応、新公益法人会計基準への適応も課題となっております。

厳しい状況が続くシルバー事業であります。高齢者の生きがいの実現と人手不足などの地域課題の解決、就業を通じた健康増進に資するシルバー事業の重要性は高く、今後とも、地域社会の期待に応えていく必要があります。

本連合会としては、地域社会からの要請や大きな時代の変化に対応する中で、各センターが高齢者の生活安定や生きがいの向上、地域課題の解決や経済の持続的発展のための事業を積極的に展開され、存在感を高めていくよう支援してまいります。

会員の皆様におかれましては、シルバー事業の根幹である安全就業の徹底や技能向上に向けた取組などを通じ、信頼される就業を地域に提供しつつ、皆様が多様な能力をいかんなく発揮していただくことで、社会に大きく貢献されることを御期待申し上げます。

結びになりますが、皆様の御健勝、御活躍を祈念申し上げます。御挨拶いたします。

連合会定時総会

令和7年6月23日(月)、本連合会の第45回定時総会が静岡労政会館6階大ホールにて開催され、令和6年度事業報告及び決算が承認されました。続いて、役員研修会として、(公社)柏崎市シルバー人材センター前常務理事兼事務局長青木健氏による「生きがいと社会貢献、全てを叶える場を叶える場所」柏崎市シルバー人材センター



陳情

静岡労働局長・静岡県経済産業部長・静岡県議会正副議長を訪問

令和7年10月9日(木)本連合会の正副会長が、シルバー人材センター事業への支援についての陳情を行いました。

1 補助金と公共事業の発注の確保

※県関係には、現在取り組んでいる新たな契約方法への対応など、シルバー人材センターの安定的な運営が可能となるよう支援

2 シルバー事業推進のための総合的支援の継続



の取組」と題する講演会が開催されました。

青木 健 氏



左から杉山副会長 荻野会長 竹内県議会議長 中田副議長

役職員研修会

毎年度、定時総会終了後に役職員研修会を開催しています。今年度は、独自事業やデジタル化等を先進的に推進している公益社団法人柏崎市シルバー人材センター(以下「柏崎市センター」という。)の取組をテーマに開催しました。講師は柏崎市センターの前常務理事兼事務局長の青木健氏にお願いしました。

柏崎市センターは、130人のボランティアが運営する「シルバーふれあいサロンやまゆり」や耕作放棄地を活用した体験型農場「みんなの農場」等の独自事業を実施しています。また、オンライン入会やメール等による会員への就業情報等の提供、会員からの就業報告等の送信、電子契約、ロボット導入による事務の効率化等を推進しており、全国でも注目されているセンターです。

当日は、各センターの役職員約六十名が参加し、青木氏の講演に熱心に聴き入っていました。シルバー人材センターが果たす役割や様々な独自事業の実施、デジタル化の推進など、大変参考になる内容であり、充実した時間となりました。

内容	効果
事務局から会員にメッセージ配信(ホームページの機能)	・新送料、コピー代、印刷代等の経費削減 ・集約が容易 ・4月～9月実績9,000件
会員から事務局に積算内容の送信(ホームページの機能)	・会員の負担軽減 ・報告が即時 ・見直し作業、郵送への送付までの時間短縮
就業報告書の写真を携帯で送信(シノロジーNAS)	・会員の負担軽減 ・報告が即時 ・お客へ請求書発行までの時間短縮

(写真資料から一部抜粋)

- ・令和7年6月23日(月) 14:30～16:00
- ・静岡労政会館6階ホール
- ・「生きがいと社会貢献、全てを叶える場所～柏崎市シルバー人材センターの取組～」青木 健氏(柏崎市シルバー人材センター前常務理事兼事務局長)



女性委員会研修会

令和8年2月19日(木)、女性委員会研修会が静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催されました。

「シルボンヌ全国大会2025 in みやぎ」に参加した県シ連女性委員会の掛川市SC笠原委員からは、シルボンヌ活動紹介を聞き、これまでのキャリアや性別にとらわれずいろいろな仕事にチャレンジすることや仕事だけではなく趣味を通して会員同士の交流を活性化することが大切であるということを確認したとの報告がありました。

その後の講演では横須賀市シルバー人材センターの磯崎副理事長をお招きし、「夢を追いかけて」と題してご講義いただき



ました。

横須賀市では「どろくむス(ダンスチーム)」「リリーズ(女子会)」「ハンドメイド結いの会」を3本柱としてイベントに出演・出店しており、その活動を自センターにも取り入れたいと参加者からは多くの質問がありました。

講演後は他センターとのグループワークとなり、活発に意見が交わされました。

今回の研修会を通じて各センター間の連携が強化されることを期待します。

女性委員会では今後も他県のシルバー人材センターの活動紹介など、県内の女性職員・会員の活躍や会員数増加につながるような取組をしていきます。



安全就業パトロール指導の実施

本連合会では、会員の皆様の安全な就業を徹底するため、安全就業専門員が各センターの担当職員と一緒に就業現場を訪問し、安全器具及び作業機器の使用状況や安全対策の実施状況などについて聞き取り、必要に応じ指導・助言等を行っています。

令和6年10月からスタートし、令和7年11月までに全34センターをひとつおり巡回しましたが、その結果は別表1のとおりであり、主な指導・助言事項は別表2のとおりです。ヘルメット等の安全器具の着用は概ね遵守されていましたが、石飛防止ネットや安全ベルトの使用については、まだまだ不十分な現場が散見されました。

一方で、石飛事故対策の計画書の提出を義務付けているセンターや、公用車や会員の自家用車に添付できるマグネット式の「作業中」ステッカーを配布して注意喚起を図っているセンター、真夏の作業前に必ずチェック表で体調管理を行い熱中症の予防に努めているセンターなど、先進的な取組を実施しているケースも多々見受けられました。

また、女性会員が屋外で作業する際、ヘルメットを着用するケースは少ないのですが、自転車用のヘルメットを代用して頭部保護を図っている安全意識の高い現場もありました。

こうした情報を各センターに紹介し、安全対策の参考にさせていただくこともこの取組の目的のひとつとなっています。

この事業を通じて、少しでもシルバー会員の事故が減少することを切に願っています。

パトロールの様子
(伊東市SC)



マグネット式の「作業中」ステッカーを添付
(掛川市SC)



自転車用ヘルメットを活用
(清水町SC)



別表1

	訪問センター名	作業別(件数)			指導・助言(数)
		草刈	剪定	その他	
6年10月	菊川市、富士市、藤枝市	4	5	—	4
11月	島田市、袋井・森地域、伊豆の国市	4	3	—	11
12月	静岡市、湖西市、伊豆市	4	7	—	7
7年1月	浜松市、裾野市、牧之原市	2	6	3	6
2月	吉田町、磐田市	1	3	—	9
4月	焼津市	2	1	—	5
5月	掛川市、函南町	3	4	—	6
6月	熱海市、川根本町	3	1	—	5
7月	小山町、富士宮市、御殿場市	4	4	—	10
8月	河津町、東伊豆町、三島市	4	4	—	18
9月	御前崎市、沼津市、伊東市	7	2	—	22
10月	長泉町、松崎町、西伊豆町	5	4	—	10
11月	下田市、南伊豆町、清水町	6	2	—	8
合計	34センター	49	46	3	121

別表2

主な指導・助言事項

こんなことに注意しましょう

- ・ヘルメット、安全ベルト、保護メガネ等の安全器具は必ず着用しましょう。
- ・斜面地や高地作業の際は足元に十分注意しましょう。
- ・通行人や車両に注意を喚起するため、標識やカラーコーンを設置しましょう。
- ・石飛事故を防ぐため、防止ネットの設置や石が飛びにくい刈払機を使用しましょう。
- ・作業当日の体調を把握するとともに、日常の健康管理に気を配りましょう。
- ・熱中症対策のため、給水時間と定期的な休憩時間を確保しましょう。
- ・ハチや害虫対策のため、防虫剤や殺虫剤を常備し、適切に使用しましょう。

就労支援・DX化等推進支援

センターを取り巻く環境

少子高齢化の中、シルバー人材センターは、会員の確保により地域社会の人手不足解消の一翼を担うことが求められています。そのため、一層のデジタル化推進と共に、地域社会への連携強化の働き掛けを強め、会員の希望と就労先の要望に沿った就労へのマッチングコーディネーターとして、その役割強化が求められています。



- ・「デジタルサポーター研修会」開催（静岡県令和7年度「デジタルサポーター育成事業」活用）
- ・デジタルサポーター認定者向け「デジタルサポーターブラッシュアップセミナー」開催（静岡県ICTエキスパート派遣事業）活用）
- ・静岡県ICTエキスパート派遣事業」の活用紹介及び支援
- ・デジタル化の取組に対しICTエキスパートによる専門的なアドバイス等の支援
- ・デジタルゲーム（eスポーツ）の利活用の支援
- ・会員の居場所・仲間づくり及びシニアの活性化ツールとして活用支援
- ・先端DX（生成AI等）活用による事務所業務効率化の講習会等開催支援

連合会の取組支援

1 「DX向上」等支援

2 就労支援

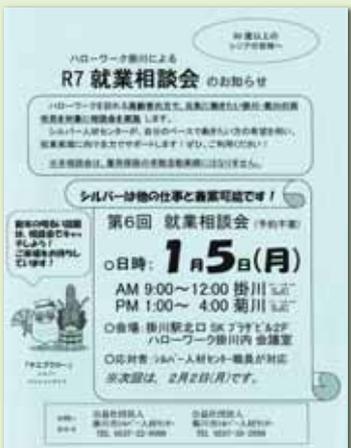
① 地域社会と連携強化の働き掛け支援

シルバー業務への理解促進を図る為、様々な形で情報発信する事が重要と考えています。まず、相談が容易にできる「シルバー人材センター就業相談会」「シニア向け就職面接会」等の実施支援及びデジタル社会に沿った広報として、ハローワーク、県市町、各種商工団体、各種法人等のSNS（HP、公式LINE等）への情報掲載の支援を行っています。

また、地域社会の諸課題（子育て、学童、介護支援等）及び地域活性化に向けた地方創生の取組について、積極的な情報収集により課題解決に向け、連携強化を図り地域貢献の支援を行っています。

② 人材センターのコーディネーターとしての役割強化支援

地域社会、経済の人手不足問題及びシニアの就労問題に前向きに対応し、解決に向けて取り組んでいる行政・ハローワーク・商工団体・地域金融機関・各種法人等関係団体と連携強化を図り、就労先の要望に希望する会員が就労するマッチング



機能の充実を図る支援を行っています。

また、就労先開拓に向けた、「既存取引先への深耕・休眠取引先への勧誘」活動への支援を行っています。

令和7年度「シルバー月間」の取組

(普及啓発委員会報告)



※①60歳以上のみなさま！
会員募集中！チラシ

「すこやか長寿99号・100号」(※③)、「しずおか県民だより9月号」(※④)、「2026年版静岡県民手帳」(※⑤)に広告を掲載しました。

センターの役員、会員が共に参加し、「60歳以上のみなさま！会員募集中！」チラシ(※①)や啓発品「A4クリアファイル」(※②)を2万2千個配布し、シルバー事業の周知・広報、新規会員の募集を行いました。

シルバー事業の社会的意義、活動内容を広く地域住民、行政機関等に周知してもらったため、令和7年10月を「シルバー月間」と定め、シルバーの日(令和7年10月18日)を中心に、県下シルバー人材センターでは、地域イベントと連携したキャンペーンや各種ボランティア活動等を実施しました。

※④しずおか県民だより9月号広告

※⑤2026年版
静岡県民手帳広告



※③すこやか長寿99号広告



※②啓発品 A4クリアファイル

高齢者活躍人材確保育成事業の取組

(高齢者活躍人材確保育成事業)

実施状況(令和7年12月末時点)

(回数)

技能講習・就業体験・セミナー	東部	中部	西部	計
① 植木の剪定	3	1	4	8
② 刈払機取扱安全衛生教育	2	3	3	8
③ 高齢者生活支援、介護・家事援助	1	1	1	3
④ スマホ体験、パソコン総合編	2	0	1	3
⑤ 襖・網戸・障子の張替	2	0	1	3
⑥ 放課後児童クラブ補助員養成	1	0	0	1
⑦ 腰痛予防、介護、認知予防体操、地震対策・家具の固定等	3	1	0	4
合計	14	6	10	30

本連合会では、静岡労働局より委託を受け60歳以上の方の就業意欲を喚起・促進させるための技能講習・就業体験・セミナーを実施しています。

この講習等は、センターでの就業を希望している60歳以上の方や、これまで経験のない職種や業務での就業を希望する現会員が、知識と就業現場の状況を実感し、センターでの就業に関心を高めてもらうことを目的としています。

表①～⑦の技能講習・就業体験・セミナーで98名の方がシルバー会員に入会していただきました。



植木の剪定 講習



包丁・刃物研ぎ 講習



介護・認知症予防体操 講習



放課後児童クラブ補助

高齢者のお宅等からの掃除やゴミ出し支援、調理等の依頼や放課後児童クラブ等からの依頼により、男女問わず多くのシルバー会員が地域の中で家事支援や子育て支援の仕事に携わっています。「重いゴミを出してもらい助かっている。」「自分ではできないことをしてもらいととてもありがたい。」などの声に、シルバー会員の仕事が、人々が慣れ親しんだ地域に住み続けるための支援になっていると実感します。そんな言葉がシルバー会員の励みになるだけでなく、「いつも生き方や人への接し方を学ばせてもらっている」というシルバー会員の声からは、携わった方々から会員が多く学びや刺激を得ているのが分かります。富士宮市シルバー人材センターでは会員の社会参加と地域貢献をお手伝いできればと積極的に講習会を開催しています。今年度も「高齢者生活支援講習」では仕事への姿勢、生活援助の仕方や相手の方とのコミュニケーションの取り方等、「放課後児童クラブ補助員養成講習」では子どもを理解し、より安心、安全に放課後児童ク



放課後児童クラブ補助員養成講習

講習会で 社会参加と 地域貢献を後押し

富士宮市

SC



高齢者様宅の掃除支援

ラブの支援者の補助が行えるように、講義と児童クラブ見学実習を実施しました。受講者からは「自分自身にとっても勉強になり、これからの人生にもっと生きがいを持って生きたい。」「たいへん有意義でした。児童クラブで働くことが出来たら楽しいと思います。」などの感想が聞かれ、さらに、うれしいことに講習会を機に新たに15の方がシルバー会員に加わりました。これからも富士宮市シルバー人材センターはシルバー会員の社会参加と地域貢献を応援していきます。



各SC同好会・クラブ・サークル活動ランキング

- 1位 カラオケ
- 2位 グランドゴルフ
- 3位 手芸
- 3位 ウォーキング
- 3位 麻雀
- 4位 ゴルフ
- 5位 ハイキング

法人様向けのご案内

こんな時に!!

シルバーという手があります!

「軽易な作業」

データの
入力作業を
急ぎたい!!

「イメージアップ」

電話対応などを
丁寧に!!

「短時間」

朝の1時間や
夕方の30分だけ
手伝ってほしい!

「忙しいタイミング」

業務が集中する
忙しい時期に
手伝ってほしい!

▶ 静岡県シルバー人材センター連合会の YouTube チャンネルを紹介します!

シルバー人材センターのイベント紹介、テレビCM、会員インタビューがあります。今後もシルバー会員の皆様に密着した動画をアップしていきます!



ご視聴、チャンネル登録してね!



静岡県シ連 youtube

本連合会職員が作成したチャンネルです。主に最新の活動情報をアップしています。



静岡県シルバー人材センター連合会

メディア作成の広報動画です。CMや会員インタビュー、様々な業務について紹介します。



60歳以上のおみなさま! シルバー人材センター 会員募集中!

お住まいのシルバー人材センターへお気軽にご連絡ください!

会員募集中 静岡シ連 検索

